

くらしのニュース 7月号

発行/苫小牧市市民生活部市民生活課 TEL0144-32-6306(直通)
市民生活課消費生活情報ホームページ <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/shohiseikatsu/seikatsubusshi/>

令和3年6月24日発行

気象の変化が 私たちの食卓に与える影響！

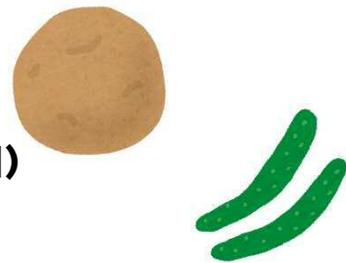
夏を迎え、「ある地域の気温が例年に比べ高い状況が続いている」ですとか、「例年よりも梅雨の時期が早まりました！」などのニュースをよく耳にします。

気温の上がり過ぎや、豪雨や梅雨の時期が長引くなどにより、北海道内はもちろん、品目によっては道外や海外など、その地域の気象の変動を原因とした需要と供給のバランスが、私たちの身近な食料品の価格や出回り状況等にも大きな影響を与えています。

《価格が上昇した野菜》

じゃがいも、きゅうりなど

(昨年の不作と5月の道内の日照不足などが要因)



《価格が下がった野菜》

トマト、にんじん、大根など



《野菜以外で価格が上昇した》

鶏卵、鶏肉など

(世界的な寒波による石炭輸送需要の急増に加え、海上輸送費の増加)

《野菜以外で価格が下がった》

ハム、ちくわ、ほっけ、豚肉など